

PRESS RELEASE

2019年2月
東京国立博物館

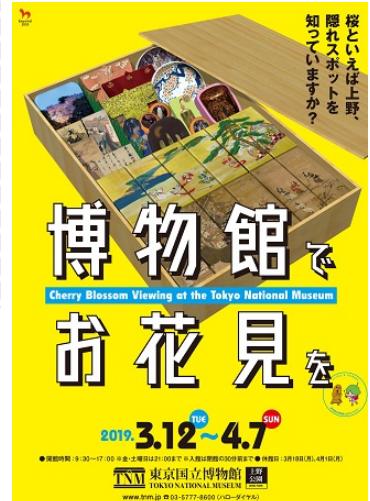
報道関係各位

「博物館でお花見を」

2019年3月12日(火)～4月7日(日)

東京国立博物館(上野公園)

「博物館でお花見を」は、桜にちなんだ名品を展示し、さまざまなイベントも開催する春の恒例企画です。展示室では名品に咲く桜、自慢の庭園では約10種類の桜が花を咲かせています。トーハクだけのお花見に出会ってみませんか？



本館桜めぐり

本館では、国宝「花下遊楽図屏風」など桜を描いた絵画や、桜をモチーフにした工芸品、サクラ材の仏像など、桜に関連した様々な作品を展示します。該当作品には、桜マークを付けています。展示室で、お気に入りの桜を見つけてください。

桜スタンプラリー

「博物館でお花見を」期間中、本館展示室の5つのポイントでスタンプを押していただきます。5つ揃ったらオリジナル缶バッジをプレゼント。

「博物館でお花見を」期間中毎日開催

※台紙配布・バッジ引換え場所：本館玄関

(引換えは10:00～閉館)



オリジナル缶バッジ
(2019年限定デザイン)

主な展示作品

本館 2 室(国宝室)

国宝 花下遊楽図屏風 (かかゆうらくすびょうぶ)

狩野長信筆 江戸時代・17世紀 六曲一双

展示期間: 3月12日(火)~4月7日(日)

お花見を楽しむ様子を描いた国宝の名品です。

左隻(右画像)には、着飾った男女が踊る様子を、右隻には、高貴な女性たちが桜の木の下で音曲を楽しむ姿を描いています。

右隻中央の二扇に描かれていた宴の主人の姿は、関東大震災で失われてしまいました。



左隻(部分)

本館 7 室

舞楽図屏風 (ぶがくすびょうぶ)

狩野永岳筆 江戸時代・19世紀 六曲一双

展示期間: 3月12日(火)~4月21日(日)

満開の桜の下、厳かに舞楽が奉納されている様子を、京都御所の障壁画制作も行なった狩野永岳が描いたものです。



(右隻)

本館 8 室

色絵桜樹図皿 (いろえおうじゅずさら)

鍋島 江戸時代・18世紀 5枚1組

展示期間: 1月29日(火)~4月21日(日)

佐賀の鍋島藩が、将軍家への献上や大名・公家などへの贈答用に焼いた、いわゆる色鍋島の優品です。



本館 10 室



打掛(うちかけ)

鶲色縮緬地桜風景模様(ひわいろちりめんじさくらふうけいもよう)

江戸時代・18世紀

展示期間:2月26日(火)~4月21日(日)

武家女性の打掛けは日常着でも華やか。桜の花が満開に咲く遠景模様が理想とされました。

本館 13 室

月に桜花図鐔 (つきにおうかずつば)

加納夏雄作 江戸～明治時代・19世紀

クインシー・A. ショー氏寄贈

展示期間:2月26日(火)~5月12日(日)

鉄地の黒を闇夜に見立て、月の光で浮かび上がる夜桜を表しています。



✿春の庭園開放✿

当館自慢の庭園を桜の時季にあわせて開放します。池のほとりにベンチを設置、臨時に桜フェアも出店します。展示室で桜の作品を見たあとは、庭園でゆったりとお花見をお楽しみください。

3月12日(火)~5月19日(日)

10:00~16:00

(ライトアップ実施日は19:30まで)

・桜ライトアップ

3月22日(金)、23日(土)・29日(金)

・30日(土)、19:30まで

※悪天候により中止の場合あり



✿ 桜イベント✿

※特記以外はすべて無料参加(ただし、当日の入館料が必要)、事前申込み不要
※事前申込制のイベントについて、申込方法は当館ウェブサイトでご確認ください

もっと知りたい！ 作品の中の桜

✿ 桜セミナー

「国宝『花下遊楽図屏風』を読み解く」

花下遊楽図屏風は、桜の下での饗宴の様子を描いた名品です。

画面構成の特色や鑑賞のポイントをくわしく解説します。

4月6日(土)13:30～15:00(13:00開場予定)

平成館大講堂 定員380名(先着順)

講師:高橋真作(絵画・彫刻室研究員)

✿ 鑑賞ガイド

桜にちなんだ作品の見どころをダイジェストでご紹介します。

※いずれも本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

◆3月22日(金) 14:00～14:30

講師:丸山猶計(教育講座室長)

◆3月29日(金) 14:00～14:30

講師:阿部楓子(教育講座室アソシエイトフェロー)

✿ 桜ギャラリートーク

※集合場所はいずれも本館8室

「器を彩る桜—伊万里と京焼」

3月12日(火)14:00～14:30

講師:三笠景子(平常展調整室主任研究員)

江戸時代を代表するやきもの、伊万里と京焼の名品から、桜を中心に春の花が配された作品をご紹介します。

「絵画に咲く桜」

4月2日(火)14:00～14:30

講師:大橋美織(絵画・彫刻室研究員)

桜を描いた展示作品の見どころをご紹介します。

✿ ボランティアによるガイドツアー

桜にちなんだ作品や構内の見頃の桜など、さまざまなテーマで「トーハクの桜」をご案内します。

※日時・テーマは、当館ウェブサイトで随時更新します。ご確認ください。

イベントも盛りだくさん！

✿ 東博句会「花見で一句」

桜咲く庭園や桜をモチーフにした作品をテーマに一句詠んでみませんか？ 構内の投句ポストで俳句を募集。入選作品は『東京国立博物館ニュース 8・9月号』、当館ウェブサイトにて発表、記念品を贈呈します。

※「博物館でお花見を」期間中、毎日受付



桜ワークショップ「春らんまん 桜ぬりえ」

桜をモチーフにした作品のぬりえです。思い思いに色をつけ、自分だけの春らしい作品がつくれます。

3月 27 日(水)～31 日(日)

各日 11:00～16:00 ※ぬりえシートがなくなり次第終了

本館 2 階ラウンジにて配布

ボランティアによるアートスタジオ「桜の根付作り」事前申込制

展示室で根付の展示を見学した後、桜をテーマにオリジナルの根付を制作します。

3月 23 日(土) 13:30～15:30

会場:本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象:高校生以上

定員:20名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費:無料(ただし、高校生を除く 18 歳以上 70 歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込締切:2月 20 日(水) 必着

※申込方法の詳細は当館ウェブサイトをご覧ください

ボランティアによる庭園茶室ツアー「草庵茶室に入ってみよう！」事前申込制

庭園内にある 5 棟の茶室のうち、通常のガイドツアーでは入らない「六窓庵(ろくそうあん)」「転合庵(てんごうあん)」の内部までご案内します。

* 悪天候の場合は中止することがあります。

日時:3月 21 日(木・祝)11:00-12:00

定員:16名(応募者多数の場合は抽選)

参加費:無料(ただし、高校生を除く 18 歳以上 70 歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込締切:2月 18 日(月)必着

※申込方法の詳細は当館ウェブサイトをご覧ください

ボランティアによる「応挙館 桜茶会」 [事前申込制]

庭園の応挙館でお茶会を体験できます。建物、および江戸時代の絵師・円山応挙が描いた障壁画などについても紹介します。

*悪天候の場合は中止することがあります

日時:3月24日(日)①11:00~12:00 ②13:00~14:00(各回とも同じ内容)

定員:各回15名(応募者多数の場合は抽選)

参加費:500円(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は、別途当日の入館料が必要)

申込締切:2月25日(月)必着

※申込方法の詳細は当館ウェブサイトをご覧ください

✿ 桜の街の音楽会

「東京・春・音楽祭」参加アーティストによる無料のミニコンサートです(ただし当日の入館料が必要)。

◆3月15日(金)13:00~ 本館前庭

Vive! サクソフォーン・クワルテット(サックス四重奏)

◆3月27日(水)13:00~ 本館エントランス

土岐祐奈(ヴァイオリン)

◆4月2日(火)14:00~ 法隆寺宝物館エントランス

坂東真奈実(ヴァイオリン)、黒川実咲(チェロ)

主催・お問合せ:東京・春・音楽祭実行委員会 TEL. 03-5205-6497

<http://www.tokyo-harusai.com/>

「博物館でお花見を」開催概要

期間…2019年3月12日(火)~4月7日(日)

開館時間…9:30~17:00 ※金・土曜日は21:00まで ※入館は閉館の30分前まで

休館日…3月18日(月)、4月1日(月)

観覧料…一般 620円(520円)/大学生 410円(310円)

※()内は20名以上の団体料金

※高校生以下、および満18歳未満と満70歳以上の方は無料。入館の際に
年齢のわかるものをご提示ください。

※障がい者とその介護者1名は無料。入館の際に障がい者手帳などをご提示
ください。

※子ども(高校生以下および満18歳未満)と一緒にご来館の方(子ども1名につき
同伴者2名まで)は、団体料金でご観覧いただけます。

※特別展は別料金。

《お問合せ》

東京国立博物館 広報室 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

TEL:03-3822-1111(代) FAX: 03-3822-2081 E-mail: pr@tnm.jp

URL: <https://www.tnm.jp/>